

『一生懸命』幻の新座市議会報告第164弾!



たかむらともや

9月議会終了・・・

8月末に開会した9月議会が終わりました。9月議会は「決算の議会」と呼ばれており、29年度の各会計の「決算」の認定・不認定が行われました。

市民と語る会の木村・高邑は29年度の「決算」にいくつか不認定の立場を取りました。

不認定の29年度決算・・・「一般会計」「新座駅北口区画整理事業」「大和田二・三丁目区画整理事業」「国民健康保険」「後期高齢者医療保険」などです。

詳しくは「新座市議会検索システム」か「新座市議会インターネット中継」をご覧ください。特に「インターネット中継」は自分が応援した議員が議会でどんなことをどんなふうに喋ったのか、あるいは黙っていたのか・・・よく分かって、面白いですよ。

弱った・・・

予想通り、石破さんが負けました。石破さんがいいとは思いませんが、憲政史上最悪の「安倍政治」が続くのかと思うと、ため息がでてきます。

このまま「アホノミクス」が続き実質賃金さがり続けたら、庶民の生活は苦しくなるばかりです。

7月5日に衆議院で「水道民営化法案」が可決されましたが、日本の水が外資企業の手に移れば、水道料金が数倍になることも考えられます。「農協改革」や「種子法廃止」で日本の食糧が穀物メジャーに支配されたら、本当に大変なことになります。

「働き方改革」「カジノ法」「消費税増税」「TAG」そして「憲法改正」。国民にいいことなど一つもないのですから困ったものです。弱りました・・・。



2018年9月30日発行



五中の体育祭は今年も先生と生徒が一つになった素晴らしい体育祭でした。僕も朝礼台の後ろで肩を組んで校歌を一緒に歌いました!!

たかやんのプロフィール



1954年、港区青山生まれ。

新宿区立西戸山小中学校卒。百人町では超有名な悪ガキだった。中1時代の偏差値は40中一で「バスケット部」「バレー部」「テニス部」と3つの部活を渡り歩くなど、実にちゃらんぽらんで

いい加減な中学生の見本のような生徒だった。

そんなバカチンが中学2年の担任、河合先生の影響で勉強をはじめ、中3の偏差値は75に。石神井高校ではクラスで最下位になるも、しまいには中学校の教師になってしまったのだからふざけている。

五中、六中、二中時代は理科・数学・国語・体育・英語などの教科を同時に複数教えるハイブリッド教師だった。その経験が今に生きている。

石神3丁目の「たかやん塾」はこの10月からリニューアルオープン! リクエストに応え「個別対応」の塾となり、ちょっとワクワクしています。

毎月の「駅立ち」をはじめて12年。毎月黒目川の「川掃除」をはじめて10年になる。

上の写真は市役所でばったり会った六中の教え子とのツーショット。左は中三の息子の最初で最後の二色対抗リレー! 今年も感動しました。

たかやんの連絡先 自宅 042-456-8869 携帯 090-6497-5737
mail: takayanchan@jcom.home.ne.jp 〒352-0033 新座市石神3-19-32-106

③ 不登校生徒の進路

この9月議会で一番力を入れたのが、「不登校生徒の進路問題」でした。新座市内に不登校の中三は毎年50人～60人。その「進学先」を市教委に資料要求したのですが、なぜか出てきません。

「不登校」は誰に起こってもおかしくありません。それ程、中学生達は日々ストレスに晒されています。常に付きまとう「内申」というプレッシャー、詰まらないことでlineで攻撃される「虐め」、僕らの時代には考えられないことが、今の中学生達にも先生達にも起きています。みなさんは

不登校の生徒などを対象とした特別な選抜

をご存知でしょうか。埼玉県立の全ての全日制、定時制で行われている入試制度です。この制度は不登校などで学校に通えなかった生徒の内申の代わりに「自己申告書」を提出し、入試の学力テストの結果だけで、判定をするというシステムです。

この議会で分かったことは、各中学校がこのシステムの存在を子ども達に積極的に伝えていなかったということでした。この制度を知らない不登校の子ども達は「無理をして」学校に行こうとします。

相談室登校すれば「欠席」ではなくなる。市の”ふれあいルーム”(適応指導教室)に行けば出席扱いになるから、行く…全て高校進学の為です。

この特別な選抜で高校進学する子の割合は8割もいることがわかりました。自宅でも図書館でも勉強さえすれば、未来は開けるのです。

学校は楽しいところであって欲しいと思います。全ての子どもが楽しく学校に行って欲しい。しかし、現実には厳しいのです。子ども達の「選択肢」の一つとして、この制度の存在をみなさんに知って欲しい。そう思って、この議会で取り上げました。



③ 6つのC

Curiosity, courage, challenge, confidence, concentration, continuation

ノーベル医学賞の本庶さんの6つのCが素敵です。「好奇心」「勇気」「挑戦」「自信」「集中力」そして「継続力」です。これにimagination「想像力」のiが1つ加わったら完璧だと思います。

規則を守ることを教えるより、6つのCが大事だということを本庶さんは教えてくれたのだと思います。

教師に想像力がないと、不登校の子ども達は勿論、全ての子ども達の不安は理解できません。

左下の写真は僕と五中の8期生の子達です。文化祭や三送会に出場を拒否された3年生のバンドと「たかやんバンド」がコラボして、中央公民館の体育館で演奏しました。これはchallengeでした。

真ん中で歌っているのが僕です…教師チームと生徒チームが協力してのコンサートには大勢の子ども達が見に来てくれたので、とても楽しかった記憶があります。いつの時代も教師と生徒が一緒になって何かをやるのは楽しいものです。

③ PTAってなんだ！？

この9月議会でPTAを取り上げました。「選択できる」筈の任意団体なのに、「強制的」に入会させられるPTAがあちこちに溢れているからです。中には「副教材費」と一緒にPTA会費引き落としをしているPTAもあります。PTAはあくまで任意社会教育団体ですから、訴えられたら完全にアウトです。

「PTAは任意団体であることを各小中学校に周知徹底すること。」そう埼玉県教委が各学校長に通知しています。今回の一般質問でも「校長先生やPTA会長を守る為にも県教委からの通知を市教委としても各学校に徹底させるべきではないか」と教育長に迫りました。

全ての保護者がPTAに加入するかしないか選択する権利を持っています。その権利は教育長が言うように「日本国憲法」で保障されているのです。

PTAの「強制加入」や変な「役員決めのルール」や無理な「一人一役」は憲法違反ということになります。学校が子ども達の面倒を見るのは当たり前です。PTAは任意団体、子ども達の為のボランティア団体です。学校の下請け機関ではありません。本物のPTAが増えていくことを期待したいですね。

読み終わりましたら、お知り合いの方にさしあげてください m(_ _)m